

ベイタウンまち育て

幕張ベイタウン協議会ニュース 9号

発行責任者: 幕張ベイタウン協議会 / 幕張ベイタウン自治会連合会

平成 22 年 12 月 25 日

これまで3年間かけてきた議論を踏まえ、まちの意思決定のシステムは、街区代表と商店街など各種団体との緩やかなネットワークを活かして決めていくことと、「(仮称)」と「設立準備会」を取って『幕張ベイタウン協議会』として正式に発足することが全体会議で合意を得ました。平成24年度に予定されている企業庁閉庁を見据えて、まちづくりをスタート出来る体制を整えて、いよいよ大きなステップを踏み出すことになりました。

◆ベイタウン協議会準備会 全体会の開催

11月27日に開催した「(仮称)幕張ベイタウン協議会設立準備会」の全体会では、23の街区代表(管理組合14・自治会9)をはじめ一般の方々の参加をいただき、活発な意見交換が行われました。

当日は、まず昨年度の事業報告として平成20年度に引き続き国土交通省の担い手支援事業補助金(300万円)を活用したまち育てニュースの全戸配布やシンポジウムの開催、ベイタウン三十六景の募集・選定などの活動成果について説明。次に今年の事業計画として、3年連続で獲得した補助金を活用し、都市デザインガイドラインによって作り出され、日本では他に例を見ないベイタウンの街並みを維持していくために、「千葉市景観計画(策定中)」にもとづく「景観形成推進地区」の指定を目指していくとの説明がされました。

◆幕張ベイタウン協議会への移行

続いて会議の大きな議題になっていたベイタウンの意思決定のあり方について、事務局から、『昨年全体の会です承された自治会連合会を事務局・対外的な窓口として、各街区のとり

まとめを行うことに加え、新たに各街区(管理組合・自治会)だけではなく、商店会や育成委員会など、ベイタウン内の各種団体との緩やかなネットワークを築きながら進めていくこと』が提案され、質疑応答の上でおおむね了解されました。

質疑応答の時間では、まち育て活動開始の要因となった千葉県企業庁の解散と千葉市への移管、管理組合と自治会との役割分担、ゴミ空気輸送システムの課題などについて、共通認識をもつための定期的な全体会合の開催要請など、これからの活動に向けた前向きな意見が活発に交わされました。

最後は、ベイタウン全体の中から幅広く積極的な意識をもった有志が、作業部会として毎月のように集まって検討し、実務を通じて企業庁その他との協議・調整を行って活動していることが評価され、各街区への情報伝達を欠かさぬことを前提に作業部会を信任し、準備会から正式な協議会組織へと移行させて、ベイタウン全体の住民主体による維持管理に向けたタウンマネジメントを行うべきとの意見が大勢を占め、今後作業部会からスケジュールなどの具体的な方針を示しながら進めていくこととなりました。

◆作業部会の開催

作業部会は毎月定例(原則:第2日曜17時~)で開催しています。自由に参加可能です。積極的に告知を行いますが、広く住民の方々からのご参加をお待ちしています。

※開催日程の確認は自治会連合会ホームページか下記へお問い合わせください。

自治連 HP:<http://www.baytown.ne.jp/>
メール: bt-machi@yahoogroups.jp

ベイタウン協議会としてスタートします!
準備会全体会にて方向性を確認



準備会全体会の様子



まがしなかでの実地講習

写真撮影講習会

ベイタウンの景観に親しむ



工作室での講義 後半は実施講習へ



マリントート上層階からの撮影風景

◆写真撮影講習会を開催

1987年から10年間にわたって幕張新都心の変貌ぶりを写真に取り続けている写真家 早坂 卓さんを講師にした写真撮影講習会がお天気に恵まれた11月20日土曜日にベイタウンコアの工作室で開催されました。この写真撮影講習会は、自治会連合会が取り組んでいるベイタウンの景観を守り、育てていく活動の一貫として写真を通してベイタウンの景観に親しむことをテーマに実施されました。

朝の9時半からスライドを使った早坂さんのお話があり、講師手作りの教材が配られて写真撮影の基礎、構えからレンズの使い方や露出の設定の説明、さらに参加者がそれぞれ持参した一眼レフカメラや、コンパクトなデジタルカメラ等撮影機材による写し方や写り方の違いについて、具体的な説明がありました。

37名の参加者は、講義を聴きながら、自分のカメラを点検したり、参加者同士でカメラの取り扱いを試したりと和気あいあいの講習会でした。

◆街路から、マリントートの屋上から

講習会の後半は、実際にベイタウンを歩きながら日光と被写体との関係、カメラを構えるアングルなど撮影技術についての実地講習がありました。こうした講習の中で、普段はなかなか入れないマリント

ートの上層階や屋上からの撮影も居住者の方のお骨折りで実現できました。セントラルパークのけやき並木に場所を移しての撮影では、木々が作り出す陰と光の変化についてのシャッターチャンスのとらえ方など細かいテクニックについても学びました。最後は、マリントートの上で広々とした公園等の写し方などのお話で、普通の講習会の3回分に該当する内容の濃い講習会の幕を閉じました。

◆楽しく写真がとれました

参加者から、「街を歩きながら楽しく写真がとれました」「早坂先生の説明はわかりやすかった」といった感想や、「時間の経過がよい街になるよう世代を超えて守っていきたい」「イギリスのコッツウォルズ地方のような街並みを皆で意識して創りあげるようにしてほしい」というなどベイタウンの景色についてのご意見をいただきました。

●千葉ロッテマリーン優勝パレード●

平成22年度プロ野球で日本一に輝いた千葉ロッテマリーンズの優勝記念パレードが11月21日(日曜日)に紙吹雪が舞う景観が似合う街・幕張ベイタウンでありました。



森田知事と熊谷市長のテープカットでベイタウンコアからパレードがスタート。住民手作りの紙吹雪がプロムナードを舞い、20万人も集まったという観客は、ベイタウンのパレードコースをも埋め尽くしました。

盛況となったパレードの様子とともに、全国から集まったファンと一緒にわずか15分で後片付けが終了したことが、マスコミで広く紹介され、ベイタウンの良さが景観だけでなくことをアピールできました。



ベイタウンの街並みが映える日本一パレードは、他球団ではみられない光景です。

幕張ベイタウンでは、「街並みと調和のとれた都市景観を実現するために、統一的な意図により計画・デザインされた街の全体像のもとで個々の施設デザインが展開されるという方法により、計画的な街づくりの誘導を行い魅力的な市街地形成を図る」ことを街づくりの方針としています。

その実現手法を示したものが「幕張新都心住宅地都市デザインガイドライン（平成2年度策定、平成13年3月改訂）」です。

街づくりの中でも特に力点の置かれた都市デザインについて、意図をより明確に伝え、計画設計の指針となるように策定され、住宅、公共施設はガイドラインの指針に沿って整備されてきました。

ベイタウンの街並みがグッドデザイン賞を受賞していること、業務地区とともに千葉市景観計画（案）の中で「幕張副都心景観ゾーン」として市内でも景観面で特別な位置づけをえることができたこと等、素晴らしい街並みとして認められていることなど、都市デザインガイドラインが果たした役割は大きかったです。

都市デザインガイドライン・指針の例

- （中層街区での指針 抜粋）
 - ・中層街区は街路沿いに住棟を配する沿道型住棟とする。
 - ・住棟の最高高さはその軒高を20m以下とし、5ないし6階を標準とする。
- （街区計画でその他遵守すべき事項）
 - ・中庭は一定のまとまりを確保し、適宜、居住者や来街者が通り抜けることができるセミパブリックな歩行者通路を設けるなどの工夫に努めるものとする。なお、中庭には十分な緑地を確保し、高木を植えるなど修景を施すこと
- （屋外空間の基本的な考え方）
 - ・街の個性・品格の形成・アメニティの高い歩行者空間
 - ・適切なハンディキャップ対策
 - ・舗装・植栽・照明・ストリートファニチャー、歩道橋それぞれのデザイン方針明確化

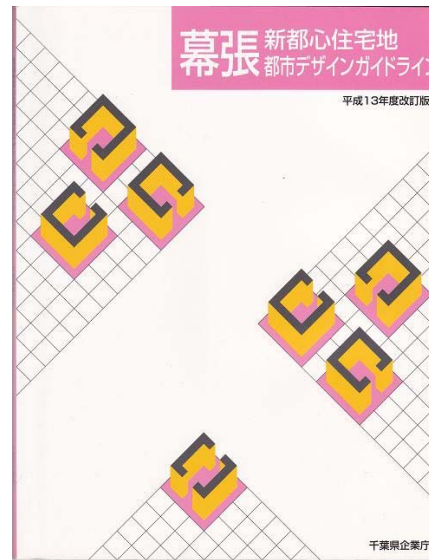
●●ベイタウン街歩き参加者募集●●

普段何げなく過ごしているベイタウンの街。一度、どんな事を考えてつくられたかを聞いてみませんか。

平成23年3月21日に、都市デザインガイドラインの検討に関わり、マンションの設計にも携わったアーバンデザイナーのガイドによる街歩きを開催します。

カメラやスケッチブックを用意して参加するのによし。気軽にご参加ください。ベイタウンのあらたなトリアも見つかるかもしれませんよ。

詳細が決まりましたら、掲示板等にてあらためてお知らせいたします。



幕張新都心住宅地
都市デザインガイドライン



デザインの基本方針（ストリートファニチャー）

- ・品格ある街並み形成、良質な維持管理
- ・案内板、バス停、街路灯等はデザインを統一
- ・施設と一環したデザイン
- ・彫刻・モニュメントの主要な通り、街角への積極的配置

●●ベイタウン景観ワークショップ●●

「都市デザインガイドライン」を住民の立場から今一度検討し、守っていききたいデザインは何かをまとめ、景観形成指針の住民案を検討するため、景観ワークショップを開催する予定です。

ベイタウンにお住まい方、仕事場にされている方、いろいろな方のご意見をお聞きできるように、現在、参加者を募集中です。興味がある方、グループで参加したい方は、ご都合に合わせて開催することも可能ですので、是非応募ください。

街歩き・景観ワークショップともに参加の希望やお問い合わせにつきましては、ベイタウン協議会までメール、または、お近くのベイタウン協議会作業部会の会員にお知らせください。

幕張ベイタウンの景観をつくってきた
都市デザインガイドライン

みなさんで選んできたベイタウン三十六景の発表も行う二部構成のシンポジウム、今回のテーマは「ベイタウンの街並みを活かそう」です。基調講演には建築や都市計画が専門の千葉市都市景観審議会でもご活躍の北原理雄さん（千葉大学工学部教授）をお迎えします。第二部では、ベイタウンの街並み景観について、北原理雄さんと都市デザインガイドラインの作成に加わってこられた建築家曽根幸一さん、前回も登場いただき内外のタウンマネジメントに詳しい村木美貴さん（千葉大学工学部准教授）と住民の2名でこれからの私たちの活動のヒントを探るパネルディスカッションを予定しています。

ベイタウンの今を知り、これからのを考えるシンポジウムも今回で7回目となります。みなさんのご参加をお待ちしています。

開催日時 平成23年1月30日（日）13:30～16:00 開会（13:00 開場）

会場 幕張ベイタウンコア ホール

プログラム

13:00 受付（入場は無料です）

13:30 開会

第一部 基調講演 「ベイタウンの景観とは（仮）」北原理雄さん

講演者：北原理雄さん

（休憩 コーヒーブレイク）

14:30 第二部

・報告「ベイタウン三十六景」

・パネルディスカッション「（仮）デザインのされた街・ベイタウンを活かす」

パネリスト：北原理雄さん・曽根幸一さん・村木美貴さん・神谷秀美さん（9番街）

コーディネーター：樺田直樹さん（19番街）

16:00 終了



北原理雄さん



村木美貴さん

まち育てシンポジウムが開催されます

今度のテーマはベイタウンの街並み！

幕張ベイタウンは、住宅で街を創り、21世紀に生き残る住宅地として構想されました。今までの日本には何処にもない沿道中庭型による街区形成のプラン、都市デザイン調整の仕組みによって、構想どおりに街並みが実現しました。街開き以降もベイタウンコアの整備、公園の自主管理等住民による活発なコミュニティ活動等によって内外からの注目を集めています。

この街を形成してきた都市デザインガイドラインの核心部分が今後も守られるように、千葉市景観計画の策定とタイミングを合わせ、千葉市景観計画の景観形成地区の指定の対象にならないかどうか、その可能性を探っています。それによって、市がこの地区を他の地区と区別する手掛かりが得られると考えるからです。区別できなければ、他の地区と同じ水準になっていくでしょう。

本シンポジウムは、この問題について、私たちがどう考えるのか、その意志決定の上で大事な情報を提供することを目的として開催します。住民が気に入ったベイタウンの景観を選ぶ取り組み、「ベイタウン三十六景」を発表し、引き続き、北原教授による基調講演を行ないます。その後、パネルディスカッションを行います。今までのベイタウンの街並み形成の経緯や専門家によるその評価、実際にそこに移り住んだ人の実感、意見、評価などが無い交ぜに語られ、今後の問題点や課題が明らかになると期待しています。

編集後記

この秋に第2回の募集を行ったベイタウン三十六景は、優勝パレードを題材にしたものや夕景・夜景を含めて37点の応募がありました。

作品のタイトルは風物や思い入れのモノが多く、芸術性の高い作品も集まっています。応募いただいた作品は平成23年1月16日に審査委員会を開催し、これまでの二十六景に加える新たな三十六景を選びシンポジウムで発表する予定です。ベイタウンで選ばれるのはどのような景観なのか。結果を楽しみにお待ちください。

■ニュースや活動のお問い合わせ先

下記のアドレスまで、ご意見・ご感想などお気軽にどうぞ。

千葉県企業庁閉庁が迫っています。今後、幕張ベイタウンの維持管理はどうなっていくのか等みなさんの疑問や幕張ベイタウン協議会への質問をお待ちしています。

今年度は自治会連合会が国土交通省所管の助成事業「長期優良住宅等推進環境整備事業」（建築・まちなみ部門）の選定を受け助成金をいただいで、街並み景観の形成や保全を中心に活動しています。

bt-machi@yahoogroups.jp